

決算報告書

平成29年度 決算報告書

国立大学法人広島大学

(単位:百万円)

区 分	予 算 額	決 算 額	差 額 (決算-予算)	備 考
収入				
運営費交付金	25,045	25,490	445	(注1)
施設整備費補助金	582	545	△ 37	(注2)
船舶建造費補助金	-	-	-	
補助金等収入	1,924	2,193	269	(注3)
大学改革支援・学位授与機構施設費交付金	72	72	-	
自己収入	37,441	38,260	819	
授業料, 入学料及び検定料収入	8,663	8,704	41	(注4)
附属病院収入	28,166	28,925	759	(注5)
財産処分収入	11	-	△ 11	(注6)
雑収入	601	631	30	(注7)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	6,609	6,552	△ 57	(注8)
引当金取崩	444	392	△ 52	(注9)
長期借入金収入	297	272	△ 25	(注10)
貸付回収金	-	-	-	
目的積立金取崩	-	-	-	
計	72,414	73,776	1,362	
支出				
業務費	61,371	60,330	△ 1,041	(注11)
教育研究経費	34,258	33,721	△ 537	
診療経費	27,113	26,609	△ 504	
施設整備費	951	889	△ 62	(注12)
船舶建造費	-	-	-	
補助金等	1,924	2,193	269	(注13)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	6,609	6,165	△ 444	(注14)
貸付金	-	-	-	
長期借入金償還金	1,559	1,557	△ 2	(注15)
大学改革支援・学位授与機構施設費納付金	-	-	-	
計	72,414	71,134	△ 1,280	
収入 - 支出	-	2,642	2,642	

○ 予算と決算の差異について

- (注 1) 運営費交付金については、特殊要因運営費交付金(退職手当)が追加交付されたことにより、予算額に比して決算額が445百万円多額となっています。
- (注 2) 施設整備費補助金については、一部事業の翌事業年度繰越により、予算額に比して決算額が37百万円少額となっています。
- (注 3) 補助金等収入については、補助金の新規採択等が予算段階の見込額を上回ったことにより、予算額に比して決算額が269百万円多額となっています。
- (注 4) 授業料、入学料及び検定料収入については、修士課程に係る授業料収入が予算段階の見込額を上回ったことなどにより、予算額に比して決算額が41百万円多額となっています。
- (注 5) 附属病院収入については、看護職員夜間配置加算の新規届出や高度な手術等による手術単価の増加などにより、予算額に比して決算額が759百万円多額となっています。
- (注 6) 財産処分収入については、前年度からの繰越を行わなかったため、予算額に比して決算額が11百万円少額となっております。
- (注 7) 雑収入については、特許権等収入が予算段階の見込額を上回ったことなどにより、予算額に比して決算額が30百万円多額となっています。
- (注 8) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、寄附金収入増加の一方で、産学連携等研究収入が予算段階の見込額を下回ったことにより、予算額に比して決算額が57百万円少額となっています。
- (注 9) 引当金取崩については、予算段階の見込額より取り崩しが少なかったため、予算額に比して決算額が52百万円少額となっています。
- (注10) 長期借入金収入については、一般競争入札の結果により借入必要額が減少したため、予算額に比して決算額が25百万円少額となっています。
- (注11) 業務費については、計画的な執行に伴う教育研究経費の減少及び医薬品、診療材料の費用抑制に努めたことなどにより、予算額に比して決算額が1,041百万円少額となっています。
- (注12) (注 2)及び(注 10)に示した理由により、予算額に比して決算額が62百万円少額となっています。
- (注13) (注 3)に示した理由により、予算額に比して決算額が269百万円多額となっています。
- (注14) (注 8)に示した産学連携等研究収入の減少によるものの他、寄附金事業費が予算段階の見込額を下回ったことなどにより、予算額に比して決算額が444百万円少額となっています。
- (注15) 借入利率の確定により、予算額に比して決算額が2百万円少額となっています。